

## 健康・医療情報コーナーのご案内

### 【図書館 1階】

- ① 健康・医療情報展示
- ② 認知症サポートコーナー
- ③ 健康・医療、福祉関係の雑誌

### 【図書館 2階】

- ④ **書架 38**  
健康・医療全般の本（病気、薬、病院、健康法、食事療法）
- ⑤ **書架 39**  
生と死を考える本  
生命倫理・自分らしい逝き方・終活・看取り・グリーフケアの5つのテーマ別に  
背ラベル上に緑色のシールを貼付  
闘病記・医療手記（疾病別）  
事典・辞書類
- ⑥ **書架 40**  
図書館発行のブックリスト  
がん情報、その他の疾病に関するパンフレット
- ⑦ **エレベーター壁面**  
健康・医療に関する新着本の案内
- ⑧ **エレベーター横**  
健康・医療に関する講座・検診・イベントのチラシ  
逗葉医師会所属医療機関一覧  
図書館発行の「おさんぽ map」

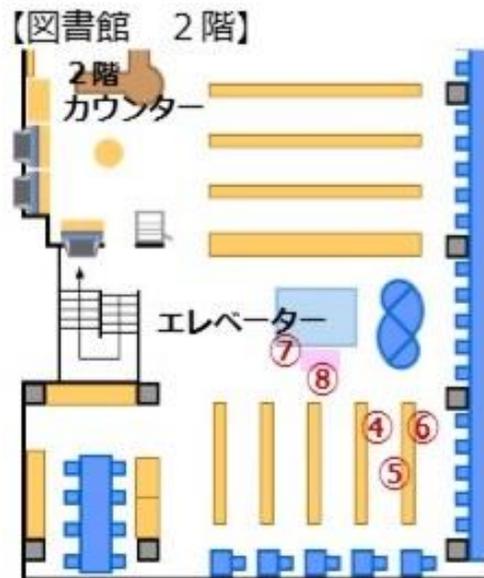
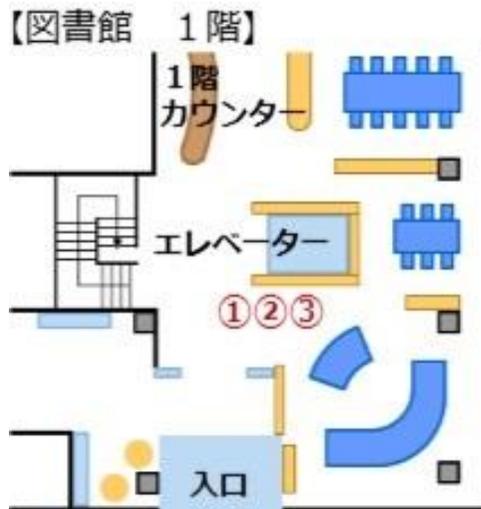
### インターネットで調べる

- ・逗子市 HP『住み慣れたまちで、自分らしく過ごすために～在宅医療・介護連携』

<https://www.city.zushi.kanagawa.jp/syokan/kenkou/iryo/p06675.html>

- ・厚生労働省 HP『人生会議してみませんか？』

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_02783.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html)



- ◆このブックリストは特定の医療機関や治療法を薦めるものではありません。
- ◆病気に関する情報・知識は常に変化しており、図書館の情報が全てではないことをご留意ください。
- ◆図書館職員は病気の診断や治療についてのアドバイスはできません。

逗子市立図書館 健康・医療情報ブックリスト  
No. 1 看取り  
2022年3月発行

## いい看取り・看取られ

11月30日(いい看取り・看取られ)は  
人生会議の日

誰にでもやってくる人生の最終段階について前向きにとらえ、大切にしていることや希望について話を重ねておくことは、家族や親しい人への思いやりでもあります。

そのための取組が“人生会議”です。

**ACP 人生会議**  
人生会議とは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の愛称です。  
もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、周りの人と繰り返し話し合い、共有する取組のことです。

このような取組は、個人の主体的な行いによって考え、進めるものです。知りたくない、考えたくない方への十分な配慮が必要です。



## 人生会議してみませんか？

厚生労働省 HP より

# 人生を会議する

『わたしたちの暮らしにある人生会議』	
西智弘／編著 紅谷浩之／[ほか]著 金芳堂 2021 「人生会議」という対話について、さまざまな立場の体験者が語る。日常そのものが人生会議となるような、対話へのヒントが満載。	IS 490.1 ニ
『119番と平穏死－「理想の最期」を家族と叶える－』	
長尾和宏／著 大和書房 2020 「平穏死」とは、延命治療を受けずに自然にまかせて穏やかに旅立つこと。119番は穏やかな最期への分岐点にもなる。救急車との正しい付き合い方を教えてくれる一冊。	IS 490.1 ナ
『人生の最後に笑顔で死ねる31の心得 －自分も家族も「満足死」のすすめ－』	
石賀丈士／著 マキノ出版 2016 自分も家族も笑顔で迎える「満足死」とは。「看取る側」「看取られる側」両方の視点から、緩和ケア医が実例をあげて、平易な文章で「満足死」のヒントを紹介。	IS 490.1 イ

# 終い方を知る

『旅立ちのデザイン帖－あなたらしい“終活”のガイドブック－』	
ライフデザインセンター／編著 亜紀書房 2016 成年後見人が現場の経験と知識をもとに、多くの専門家から集められた事例や情報をまとめる。「生」「老」「病」「死」の項目に分けて掲載。	IS 367.7 タ
『自分で決める人生の終い方－最期の医療と制度の活用－』	
樋口恵子／編 ミネルヴァ書房 2014 「人生最後の医療を考える」をテーマに、終末期医療を支えてきた医師や法律の専門家らが語る。「人生の終い方」を自分で決める意思と体力があるうちに読んでほしい一冊。	IS 490.1 ジ
『失敗しないエンディングノートの書き方 －あなたの気持ちを上手に伝えるための終活ツール－』	
石崎公子／著 武内優宏／監修 法研 2013 エンディングノートを作成する前に、知っておきたい事項が学べる。ノート選びのポイントや正しい書き方、よくあるトラブルやその具体的な解決策など、5つの章に分けて丁寧に解説。	IS 324 イ

# 看取りを考える

『素敵なお臨終－後悔しない、大切な人の送りかた－』	
廣橋猛／著 PHP 研究所 2018 緩和ケアに携わる医師が、緩和ケアについて起こりがちな誤解を解説するとともに、身近にいる人だからこそできる、4つのつらさへの寄り添い方を提案。最期を迎えるときに起こる体の変化なども具体的に掲載。	IS 490.1 ヒ
『家族で看取るおくりびとの心得10』	
高丸慶／著 学研プラス 2016 余命を告げられた家族が経験することを時系列で紹介しながら「おくりびと」＝看取る人の10の心得を解説。それぞれに納得のいく最期のあり方を考えるとともに、おくれた先にある喪失体験へのケアについても案内。	IS 490.1 タ
『ケアのカリスマたち－看取りを支えるプロフェッショナル－』	
上野千鶴子／著 亜紀書房 2015 介護職、医療・介護の専門職、施設運営者、看取り士など、さまざまな立場で「看取り」の現場に立ち会ってきた第一線のプロに上野千鶴子がインタビュー。「『おひとりさま』はどう死を迎えるか」の問いかけから始まる、それぞれのプロフェッショナルとの対話から、「看取り」の姿をとらえる。	IS 498 ウ

# それぞれの看取り

『いのちつぐ「みどりびと」1～12』	
國森康弘／写真・文 農山漁村文化協会 2012-2017 滋賀県の集落を舞台に、さまざまな死のかたちとそこで受け継がれる人々のバトンを記録した写真絵本。ひとりひとりの「別れ」と「つながり」の物語が静かに伝わる。	IS 490.1 ク 1-12
『こころを看取る－訪問看護師が出会った1000人の最期－』	
押川真喜子／著 文藝春秋 2012 訪問看護師が在宅医療のなかで出会った患者と家族の最期の物語を綴る。病気も年齢も、家族の状況も異なるひとりひとりの迷いや選択がやわらかな語り口で伝わってくる。在宅医療について知っておくべきポイントも掲載。	IS 490 オ

紹介している資料は逗子市立図書館で所蔵している中の一部です。